

脾腫をきたす疾患のうち、症状として発熱があるものを挙げる。

また、脾腫には i) 脾機能亢進に基づく腫大、ii) 脾臓、門脈血流の異常にに基づく腫大、iii) 脾臓の浸潤の3つの原因が考えられる。脾腫の原因に基づいて鑑別をしていく。

脾機能亢進に基づく腫大
免疫機序による過形成
感染に対する応答
ウイルス性：肝炎ウイルス（ウイルス性肝炎）、 EBウイルス（伝染性単核症）、 サイトメガロウイルス
細菌性：サルモネラ菌、ブルセラ、リケッチア、エンテロコッカス、MRSA
真菌性：カンジダ、クリプトコッカス、アスペルギルス
寄生虫：マラリア、トキソプラズマ、リーシュマニア
AIDS
先天梅毒
脾臓癌
結核
ヒストプラズマ症
リーシュマニア症
トリパノソーマ症
免疫制御異常
RA
SLE
血清病
免疫性好中球減少症
薬物反応
血管免疫芽細胞性リンパ節症
髓外造血
骨髄線維症
腫瘍、白血病による骨髄浸潤

脾臓、門脈血流の異常にに基づく腫大
肝住血吸虫症
脾臓の浸潤
良性および悪性細胞浸潤
白血病 (急性、慢性、リンパ性、骨髓性、単球性)
リンパ腫
Hodgkin リンパ腫
骨髓増殖性疾患
転移性腫瘍
ヒストオサイトーシスX

参考文献

Up To Date

- Approach to the adult patient with splenomegaly and other splenic disorders
- Approach to the adult with fever of unknown origin
- Etiologies of fever of unknown origin in adults

ハリソン内科学 第2版 vol.1 p.355-358